

上野幌・青葉地域 南側部会 ニュース

上野幌・青葉地域小規模校検討委員会はこれまで地域の4つの小学校を対象に検討してきました。平成28年9月からは北側部会（上野幌小学校・青葉小学校）と南側部会（上野幌西小学校・上野幌東小学校）に分かれて検討しています。このニュースについても部会ごとに発行しています。

～このニュースはまちづくりセンターや児童会館、学校でも配布しています～

第4回部会について

7月13日（木曜日）午後3時から、上野幌東小学校で第4回部会を開催し、「新しい小学校」の校名公募の結果報告と検討を行ったほか、新設校の施設改修などについての説明がありました。

地域の皆さまから寄せられた意見（報告）

地域からのご意見について事務局から1件の報告がありました。

- 「新しい小学校」の校名について、北側と南側で関連付けた名称にしてはどうか。統合の結論が出たことで終わりにせず、上野幌・青葉地域が連携を取り続けていくという願いを校名に重ねることができればいいのではないか。

（平成29年4月 FAX）

通学安全 スクールゾーン 実行委員会 （報告）

7月6日（木曜日）に上野幌東小学校で、7月12日（水曜日）に上野幌西小学校でスクールゾーン実行委員会が開催され、統合後の新しい通学路を想定しながら、通学安全についての意見交換等が行われました。

今後は、平成31年4月の新設校開校に向けて、両小学校のスクールゾーン実行委員会を合同で開催する予定です。

新設校の施設改修 （報告）

新設校の校舎として活用する、現在の上野幌東小学校の改修工事について、事務局から報告がありました。

統合に伴う児童数増加に対応した教室整備や老朽化している個所の改修を行います。

【想定スケジュール】

平成29年度	平成30年度	平成31年度
改修工事の設計	改修工事	開校
		工事を一部実施する場合があります。

新設校の校名

新しい小学校の校名案について、協議を行いました。

(検討)

児童、保護者、地域の方から、**84**の校名案の応募をいただきました。
たくさんのご応募ありがとうございました。

「新しい小学校」の校名案：五十音順

あいさつどおり	アシル上野幌	厚別
あつべつく	あつべつ公園	あつべつたのしい
えがおいっぱい	えがおいっぱいキラキラ	かがやき未来
上なかよし	上野幌あいさつ※	上野幌あいさつ通り
かみのっぼろあおぞら	かみのっぼろおかの上	上野幌キラキラ※
上野幌元気	上野幌こもれび	上のっぼろこもれびの森
上野幌桜※	上のっぼろ新〔シン〕	上野幌正変〔セイカ〕
上野ぼろそうごう	上野幌双星〔ソウセイ〕	上野幌大地※
かみのっぼろだいに	上野幌太陽※	上のっぼろダブル
上野幌中央※	上野幌中央仲良し	上野幌東西※
上野幌東西えがお	上野幌東陽	上野ぼろなかよし
かみのっぼろにしひがし	上野幌虹	上野幌にしひがし
上野幌の丘	上野幌花咲	上野幌はるかぜ
上野幌万緑〔バンリョク〕	上野幌光※	上野幌ひかりの丘
上野ぼろ平友〔ヘイユウ〕	上野幌ベニー	上野幌ベニータウン
上野幌緑	かみのっぼろみどりのはら	上野ぼろみどりの森
上野幌南	上野幌みらい	上野ぼろ森山
上野幌よつば	きすな	きらり
げん気いっぱい	元気もりもり	幌東〔コウトウ〕★
さくら	札幌高台	しんかみのっぼろ
立花	立花中央	中央※★
東西※	仲間の森	なかよしにここに
ながれぼし	ニコニコ	にしひがし
ノホロ	のほろヶ丘	野幌子
ノホロ爽緑〔ソウリョク〕	ノホロの丘※	のほろの里
ノホロの大地	ノホロの友	ノホロ光
ひかり	ビューティフル	ふれあいのほろ
マイドリーム	明広〔メイコウ〕	友正

●漢字、ひらがな、カタカナの表記が異なる校名案は1つに集約し※を記載

●読み方の記載があった校名案は、〔 〕にその読み方を記載

●札幌市内にある他の小学校の校名案は、★を記載

◆委員意見

(校名)

委員から以下のご意見がありました。

- 学校名を記載する場面は多いので、字画数を少なくするという観点も考慮すべきではないか。せめて、現校名より長くしないほしい。
- 「上野幌緑」は、響きが良いと思う。
- 「ノホ口の丘」は上野幌西小の校歌に入っており、「野幌の大地」は上野幌東小の校歌に入っている。「ノホ口」というフレーズは、思い入れがある校歌から取っているのではないか。
- 「ノホ口」が校名に入っているのは良いと思う。
- 「上野幌中央」は、西と東の統合であることや「上野幌中央公園」があることからだと思うが、新しい学校は上野幌地域全体を考えると中央に位置していないのではないか。
- 新しい小学校といっても上野幌東小学校の校舎を活用することは事実。だからこそ現在の両校名と全く違う名前にした方が、両校の児童が分け隔てなく新しい気持ちで学校生活を送ることができるのではないか。
- 札幌市には現在カタカナの校名がないので、初めてのカタカナの名前にするのもいいのではないか。
- 他地域の検討では、応募のあった校名案の中から各委員がいくつか理由を付けて推薦し、絞り込みを行ったのちに決定したと聞いている。その方法を採用するのが良いのではないか。
- 校名を決定する際には、なぜその校名であるのかという理由付けをしっかりと決定しなければならないと思う。

児童会館について

(担当課から説明)

子ども未来局子ども企画課から、統合後の児童会館について説明がありました。

児童会館の整備に関しては、「札幌市市有建築物の配置基本方針」・「児童会館のあり方（指針）」に基づいて進めております。※

上野幌東小学校のミニ児童会館は学校の改修に合わせて児童会館として再整備し、新設校の開校と同時に供用開始する予定です。

※<札幌市市有建築物の配置基本方針>（児童会館部分の概要）

- ・児童会館は、学校施設やコミュニティ施設と複合化し、ミニ児童会館は、小学校の改築に合わせて児童会館へ転換

<児童会館のあり方（指針）>

- ・既存の児童会館及びミニ児童会館は、小学校等と併設した児童会館として再整備
- ・「1中学校区1児童会館」から「1小学校区1児童会館」への転換
- ・小学校の改築時期に合わせて再整備。合わない場合は、学校増築や教室改修で再整備

<児童会館を小学校と併設するメリット>

- ・主な利用者（小学生）の安全性・利便性が向上（学校敷地から出ることなく、学校から直接児童会館への移動が可能）

◆委員意見など

(児童会館)

委員から以下のご意見等がありました。

●現在の**上野幌児童会館**は**どうなるのか**。

【子ども未来局回答】

- ・上野幌東小学校に機能を移転しますので、閉館することとなります。

●1 小学校区 1 児童会館という「**札幌市の方針**」はいつできたのか。

●方針はわかるが、**学校統合**という特殊な事情を考慮して柔軟に対応することはできないのか。

【子ども未来局回答】

- ・方針は平成 26 年に策定しました。昨年度改築が終わった篠路小学校や二条小学校も児童会館を学校に併設しており、札幌市の標準にしたいと考えています。

●新しい児童会館の整備には我々の意見も取り入れてくれるのか。

【子ども未来局回答】

- ・児童会館化する際にはプレイルームや専用玄関といった標準的な整備が基本となり、要望をどこまで取り入れることができるかわかりませんが、ご意見をいただければと思います。

●新しい児童会館の**駐車場**は**どうなるか**。

【子ども未来局回答】

- ・駐車場を新たに整備することは難しいですが、今後学校と調整させていただきたいと考えております。

●上野幌児童会館には中高生も訪れており、**低学年の小学生**と一緒に**体育館**で遊んでいる。

●現在の**上野幌児童会館**と比較すると、**機能**は**相当制限**されるのではないか。

●学校の**体育館**は**学校開放事業**でほとんど使っているので、**児童会館利用者**が**使うのは厳しい**のではないか。

校舎等の跡活用 について

(担当課から説明)

まちづくり政策局地域計画課から、上野幌西小学校の跡活用検討の今後の流れなどについて説明がありました。

上野幌西小学校の校舎等及び敷地に関して、札幌市役所では、包括して活用するという部署はありませんでした。今後は、民間事業者が跡施設を活用していただくことの検討に移っていきませんが、その際に地域貢献を売却の条件とすることを考えています。今年度は、跡施設で事業展開の可能性のある民間事業者がいるかについての調査を実施します。

◆委員意見など
(校舎の跡活用)

委員から以下のご意見等がありました。

- 町内会から跡活用に関する意見がきているが、それらの意見や要望はいつどの場で聞いていただけるのか。

【まちづくり政策局回答】

- ・他の地区における跡活用の検討事例ですと、これから行う調査の結果、どのような事業者に進出する意向があるかが見えてくると思っています。その後、地域活動等についての要望を、売却に当たりどのように条件付けするかを検討を行いますので、条件のすり合わせに関する話は来春以降に行うことになると思います。

- 例えば、町内会の大きな盆踊りを、上野幌西小学校跡地のグラウンドで行いたいという要望を聞いてもらえるものか。

【まちづくり政策局回答】

- ・土地や建物といった財産は、購入した民間事業者のものになったとしても、地域の人たちのために協力しましょうという事業者が来てくれると、本当に良いと思っています。

- これまでの部会においても跡活用の話をしたいと考えていたが、まだそのような場ではないというので我慢していた。上野幌西小学校の跡地がどうなっていくか、我々は民間事業者に直接接することはできないので、札幌市が民間事業者に地域の意見をしっかり伝えてくれるのか。

【まちづくり政策局回答】

- ・売却時に設定する条件を受け入れた事業者が購入することになりますので、その条件を地域の皆さんと考えていきたいと思っています。

- 民間事業者に売却する場合は、すべてを売却することになるのか。

【まちづくり政策局回答】

- ・基本的には校舎と体育館とその敷地を売却することになります。

- 来年1月頃をめどに調査を行うということだが、事業者の立場としても、後出しで提示された条件に対しては対応できないと思うので、同時進行で地域の意見を取りまとめていく必要があるのではないか。

【まちづくり政策局回答】

- ・調査の結果が出るのを待つのではなく、今年度中に開催される部会の中で、皆さんのご意見を逐次お聞きしていきたいと考えております。

今年度の委員一覧

今年度に入り、部会委員の交代がありましたので、全委員を紹介いたします（※下線は今年度から新たにご就任いただいた委員です）。

井出光典	上野幌西小学校	校長	
大江哲哉	上野幌東小学校 P T A	会長	
北嶋雅見	道銀地域総合研究所	業務部長	司会委員
高村誠	美しが丘緑小学校	校長	統合経験者
田村芳子	上野幌東小学校 P T A	元副会長	
外山和宏	上野幌西小学校 P T A	会長	
波多野達郎	道営厚別団地自治会	会長	
平岡英志	上野幌中央連絡協議会	会長	
廣奥玲子	上野幌東小学校 P T A	書記	
福田綾乃	上野幌西小学校 P T A	副会長	
吉岡敏幸	厚別南町内会連合会	副会長	部会代表
吉田郁恵	上野幌西小学校 P T A	副会長	
吉田雅昭	上野幌東小学校	校長	

(五十音順・敬称略)

確認事項

第4回の部会では下記のことを確認しました。

<校名の決定方法>

- ・各委員が2案程度を推薦し、案を絞り込む。
- ・事務局へ寄せられた意見等も考慮し、次回の部会で決定する。

第5回の部会について

第5回部会は、9月下旬頃の開催を予定しており、引き続き新しい学校の校名などについて協議を行います。

■ ご意見・ご質問は、下記までお寄せください ■

■ 小規模校検討委員会に関すること <小規模校検討委員会事務局> ■

札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課（学校規模適正化担当）

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 S T V 北2条ビル5階

T E L 011-211-3836 / F A X 011-211-3837 E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp

■ 児童会館に関すること ■

札幌市子ども未来局 子ども育成部 子ども企画課（放課後児童担当）

〒060-0051 札幌市中央区南1東1丁目 大通バスセンタービル1号館3階

T E L 011-211-2989 / F A X 011-211-2943 E-mail kodomo.ikusei@city.sapporo.jp

■ 校舎の跡活用に関すること ■

札幌市まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課（調整担当）

〒060-8611 札幌市中央区北1西2丁目 札幌市役所本庁舎5階

T E L 011-211-2545 / F A X 011-218-5113 E-mail toshikeikaku@city.sapporo.jp

※ 部会ニュースは、札幌市教育委員会ホームページにも掲載しています。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>